

# DJ Magazine 12月号 (2018)

ドキュメンタリージャパン

vol.34 2018.12.1

映像制作会社ドキュメンタリー  
ジャパンが今月お届けするテレビ  
番組や映画のお知らせです。

1  
Topics

SWITCHインタビュー達人達

峯田和伸×矢部太郎

放送予定:12月15日(土)午後10:00~10:59

再放送:12月22日(土)午前0:00~0:59(金曜深夜)



製作スタッフの  
つぶやき

二人の話が盛り上がれば盛り上がるほど撮影しているのが辛くなる現場だった。同じクラスでずっと気になってたけど、人見知りのせいで結局話せずじまいだったヤツとの同窓会が行われている感覚。しかもモチなかった者同士の。もうカメラを放り出してそっちの話に自分も参加したくてたまらないのだ。矢部さんも峯田さんも人見知りで人の目を見て話さないと聞いていた。二人が俯いたまま沈黙したらどうしようという心配はあっさり杞憂に終わった…

カメラマン 高野大樹

処女作『大家さんと僕』が累計70万部超の大ヒット。第22回手塚治虫賞を受賞した矢部太郎(41歳)。シャイで口下手な芸人・矢部が指名したのは、峯田和伸。むきだしの感情を、あけすけな言葉で力の限り歌うミュージシャンであり、今や『朝ドラ』から『大河』まで引っ張りだこの役者でもある。二人の出会いは20年前。まだ何物でもなかった矢部が大学生・峯田のライブを見に行き、すっかり魅せられたという。以来、互いに相手の活躍を意識しながらも、ひざを交えて話したことはない。同い年、人見知りという共通点を持つ二人が、互いの原点やこれまでの挫折と喪失、そして女の子の話からこの先の作品作りに至るまで、縦横無尽に語り合う。

2  
Topics

世界はTokyoをめざす

標的に祖国の未来をかけろ!

~ジョージア・親子三代射撃一家~

放送予定:NHK BS1 12月23日(日)午後8:00~8:49

3  
Topics

『フランス人がときめいた日本の美術館』

放送予定:BS11 毎週金曜 午後8:00~9:00  
MX 毎週日曜 正午~午後1:00



ジョージアで、『女子射撃界の生きる伝説』と謳われるニーノ・サルクワゼ選手(49)。19歳でソウル五輪に初出場し、2種目で金・銀メダルを獲得。東京大会に出れば、最多記録の連続9回出場となる。息子のツォトネ(20)もリオ大会に出場し、父・ワフタング(87)は旧ソ連で活躍した英雄。世界でも稀な親子三代の射撃一家なのだ。ニーノは、若手の指導にも力を入れる。「東京で活躍すれば、大国に翻弄され続ける小国でも、世界と対等に向き合えるとわかるはず。自信と誇りを取り戻させたい」。母国のために挑戦し続ける姿を描く。

製作スタッフの  
つぶやき

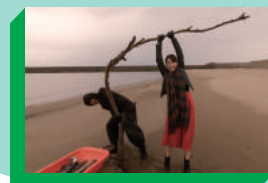
ジョージアに平和を願う射撃選手がいる!それが企画の始まりでした。ジョージアは民族紛争が続いている国。しかも、種目はピストル。ピストルで平和を願うって!? 五輪連続8回出場の大ベテラン。その主人公は意外にも、笑顔が素敵な偉ぶらない女性でした。波乱万丈な人生を歩んできた彼女の一言が突き刺さりました。「ピストルは戦争の武器にもなるけど、スポーツでは平和をもたらすことも出来るんです」その奥深い真意は、是非、番組で!

ディレクター 新井章二



日本に恋したフランス人美術史家ソフィーさんがセレクトした美術館めぐりの番組です。それぞれの美術館で、ソフィーさんの見るべきポイントをもとにアートを楽しみ、新たな発見とときめきを感じる1時間。さあ、ナレーター椎名桔平さんの誘いで極上の旅に出かけましょう。

- |  |   |
|--|---|
| 12月7日(金)&9日(日)<br>ラリック美術館<br>(神奈川県足柄下郡箱根町) | 12月14日(金)&16日(日)<br>金沢21世紀美術館<br>(石川県金沢市) |
| 12月21日(金)&23日(日)<br>佐川美術館<br>(滋賀県守山市)      | 12月28日(金)&30日(日)<br>三溪園<br>(神奈川県横浜市)      |





## BS1 スペシャル「ユージン・スミスの戦争（仮）」

放送予定：NHK BS1 12月29日(土)午後 9:00～9:50

ユージン・スミスは太平洋戦争中に従軍カメラマンとして日本の兵士や住民を撮影して以来、生涯日本に関心を寄せて来た。発掘された新資料をもとにその生涯をたどる。

# Special Tokyo Docs 2018 リポート !!



左：煙草谷プロデューサー  
右：笹木ディレクター



今年も Tokyo Docs というドキュメンタリーの国際共同制作会議が 11 月 5～7 日に開かれた。作り手は、何百名もの観衆と、BBC やディスカバリーチャンネル等、世界の名だたるメディアの敏腕プロデューサーたちの厳しい目の前で、自分の企画を 20 分プレゼンする。海外から求められるのは、ストーリーだ。親子、孤独、、、日本の媒体は素材主義で、物語性が足りないと言われる。西欧の公共放送の代表的な立場にいるデジジョンメーカーは、「いかにザッピングされずにテンポよく物語を展開し、若者を魅了出来るかだ」と力説していた。また、今年から YAHOO JAPAN がショートドキュメンタリーを支援してくれている。例えば 10 分の、あっと驚くようなドキュメンタリー、どんどん挑戦したいものだ。（本木敦子）

今年も Tokyo Docs で企画のピッチング（発表）をしました。今回は、メディア規制が進むロシアで報道されない人々の苦悩を演劇にしてプーチン政権を批判する劇団 Teatr.doc を取り上げた内容を発表しました。この企画は Tokyo Docs 主催で企画のブラッシュアップを図る「マスタークラス」に選ばれ、ヨーロッパ・ドキュメンタリー・ネットワーク (EDN) のポール・パウエルズさんを講師に迎えて 4 月からずっと向き合ってきました。ディレクターがなぜこのテーマを撮りたいのか、どのようなストーリーが展開できるのか…など、普段とは違う深い角度から企画を練り上げていく作業は新鮮かつ、とても難しいものでした。また、今年も Tokyo Docs 実行委員会の一員として非力ながら運営の一部に携わる一方、昨年受賞したカラズオブアジアの作品「私の小さなダンスシューズ」が 10 月に NHK BS1 で放送され、その内容についてのシンポジウムに登壇するなど、とても濃い 3 日間を過ごしました。ドキュメンタリーを制作するのは時間がかかりますが、それぞれの内容と真摯に向き合いどう形作っていくのかを改めて考えさせられる日々でもありました。（プロデューサー煙草谷有希子）



### 第4回

アシスタント・ディレクター 米澤拓磨

番組名 / ETV 特集 アンコール「加藤一二三という男、ありけり。」

“ひふみん”の愛称で知られる棋士・加藤一二三の引退までを追ったドキュメンタリー。各界の人々のインタビューをベースに構築されているノーマレの番組ですが、何とんでも演出やテンポ感が一風変わった番組で、1 画面に 5 人のひふみんが出てきたり、音楽ではジュームスブラウンの「ワン、ツー、スリー」の声に乗せて「一二三のすごみ」と 3 つの逸話を紹介したりと、何だか見終わってみると、ひふみんのエンターテインメントを観たような感覚になるという…。率直に面白かったです。

## 記憶に残るテレビ番組

～若者の“テレビ離れ”が進んでも…テレビはやっぱり面白い！  
DJ 若手スタッフがおすすめの本をご紹介します～

04

### 制作中の番組



その他、多岐に渡る作品を制作中です！詳細はドキュメンタリージャパンのHPまで。

### 編集後記

DJ が運営するドキュメンタリー専門ポータルサイト「Port of doc. (略して Pod)」(<https://www.documentary.jp>)をご存知でしょうか？ちまたのドキュメンタリー最新情報や、我々がブレン、企画室・檀さんのやみつきコラムが読める、ドキュメンタリー好きにはたまらないサイトです。ぜひ一度覗いてみてください。今年も DJ Magazine を読んでいただきありがとうございます！来年も皆さまにとって良い年になりますように…

(S.N)

Design by HARIMA koutarou

株式会社ドキュメンタリージャパン

HP: <http://www.documentaryjapan.com>

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目12番20号 和晃ビル1F TEL:03-5570-3551 FAX:03-5570-3550